

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/10/28

Albirex-RT

スーパーFJ 富士シリーズ 第6戦

# 太田選手 今季2度目の3位表彰台獲得！！



10月28日(日) 予選・決勝 1LAP=4.563km 決勝：12LAPS

天候：雨 コース：ウェット 出走：14台

気温：16℃ 湿度：63% 路温：14℃

ドライバー：深村 匠 (アルビ RTGIA ミスト KK-S #34)

神村悠太 (アルビ RTGIA ビヨンド EDKKS #35)

太田達也 (玉三郎 ED アルビ RT 岩本 10V #36)

予選結果：太田選手 3位 神村選手 6位 深村選手 8位

決勝結果：太田選手 3位 (表彰台獲得) 神村選手 11位 深村選手 7位

## ■10月28日（日） 予選

8時50分、20分間の予選開始。コースイン開始2分前までは路面は完全なドライで、他チームも含め全車がドライタイヤを選択。ピットを出て、全車ピットロードでコースオープンを待つ。しかし、その間に雨粒がぼつぼつと落ち始める。

こうした状況を受け、太田選手はコースインラップで一度ピットに戻り、レインタイヤへの変更を決断。コースがオープンになると、全参加台数のうち一番最初にピットインしレインタイヤへ変更。レインタイヤでのアタックを試みる。天候は、コースインラップを終え計測開始の時点で小雨が降り続く状況となり、路面にはうっすらと水が乗るくらいの路面状況となっていた。

神村選手は太田選手に続いてコースイン。雨や路面の状況からレインタイヤへの変更を考えたものの、前を走っていた太田選手がピットに入るのを確認したため、渋滞をさけるためにもう1周走行した後ピットインし、レインタイヤに変更。

深村選手は太田選手、神村選手がタイヤ交換のためピットに入るのを確認。2台のタイヤ交換が終わった頃を見計らってピットインし、レインタイヤに交換。アタックを開始する。

中盤を過ぎる頃には太田、神村選手が1番手、2番手タイムをマーク。4番手には深村選手がつけ、アルビレックス・レーシング・チームが予選上位を独占するかという展開を見せる。しかし、中盤によやくタイヤ変更した上位陣が残り6~7分で好タイムを連発。結果、太田選手は3番手、神村選手が6番手、深村選手が8番手時計をマークする。

そしてこの雨によるタイヤ変更で各チーム動きが活発になる中、他チームの3選手がピットレーン速度違反等によりペナルティを受ける。これにより神村、深村両選手は1つずつポジションを上げ、それぞれ5番、7番グリッドより決勝を迎えることとなった。

## ■10月28日（日） 決勝

14時00分決勝スタート。天候は変わらず小雨で、傘がいらぬ程度。路面は完全ウェットの状況。

3番手スタートの太田選手は、決勝中に雨が降ってくることを見越してのセッティング。レーススタート後、オープニングラップのセクター3・ダンロップコーナーまでは1位、2位にピッタリついていったものの、その後の低速区間で2台に離されてしまう。

その後は目論見が外れ、雨は結局残り2周で小雨が降り出した程度にとどまり、上位2台との差を詰められないままフィニッシュ。しかしながら、自身今季2度目の3位表彰台を獲得した。

7番手スタートの深村選手は前車のミスによりオープニングラップで6番手に浮上。しかし、ペースで上回るその車両にかわされ7番手に。その後再び6番手に浮上するが、雨足が強くなってきた9周目に再びかわされ7番手に。そのままチェッカーとなった。

神村選手はオープニングラップの3コーナー・コカコーラコーナーでスピン。一気に13

番手まで順位を落としてしまう。その後4周目には11番手までポジションを上げるが、8、9、10位の集団までかなりの差があり、その差を詰められないままチェッカーフラッグを受けることとなった。

#### ○深村選手コメント

難しい状況の中のレースでしたが、最終戦で自己ベストの7位という結果が残せてよかったです。今年の経験を生かして、来年は表彰台に立てるように頑張りたいです。1年間サポートして頂きありがとうございました。

#### ○神村選手コメント

今年最後のレースなのでいつも以上に気合を入れて望みましたが、空回りしてスピンしてしまい悔しいです。攻めの走りは見せられたと思うので、冬の間たくさん練習して来年はこれを結果に結びつけていきたいです。今年1年、アルビレックスRTの一員として走らせて頂きありがとうございました。

#### ○太田選手コメント

決勝は雨が強くなってくることを見込んでセッティングしたのですが、雨の強まるタイミングが思ったよりも遅く、もっと早く雨雲が来てくれればと思いました。ただ、今年2回目の表彰台はうれしいです。来週は茂木のレースなので、茂木でも表彰台に立てるようがんばります。

#### ○中村監督コメント

神村選手は金曜と土曜と良い流れの中でタイムアップができました。最終戦ということもあり、本人のモチベーションも高く、予選も自己最高の6番手を獲得し、ウェット路面の中の走りには速さが見られました。決勝は1周目のタイヤが温まっていない中、アタックし失敗してしまいましたが、攻めの走りで来年につなげると思います。

深村選手は金曜、土曜とかなりドライビングで悩みましたが、決勝では非常に我慢のレースをし、自己ベストの7位を獲得することができました。深村選手も来季に向けてのいい勉強になりました。

太田選手は土曜日に13コーナー等でドライビングの修正をかけたものの、トップから1.8秒離され課題が残る内容となりました。しかし、決勝では安定した走りで見事3位表彰台を獲得いたしました。富士シリーズを応援していただいた皆様ありがとうございました。





**P PLUS**  Nankai Plan Co.,Ltd.

**鈴木会計**  
埼玉・川口  
<http://www.tknf.com/ads>

**MID Japan Inc.**  
Mitsui Impress Development



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース